

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代男性)ありました。症状はありません。感染地域、感染経路はいずれも不明です。本年の累積報告数は5例となりました。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第19週追加報告分)あり、症状は腸炎、菌血症です。感染地域は国内で、感染経路は以前からの保菌です。本年の累積報告数は16例となりました。
- 急性脳炎の報告が1例(80歳代男性)(第19週追加報告分)ありました。本年の累積報告数は4例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(10歳未満及び60歳代女性各1例)ありました。本年の累積報告数は43例となりました。
- 梅毒の報告が2例(10歳代女性及び20歳代男性各1例)(第19週追加報告分含む)ありました。いずれも感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は24例となりました。
- 百日咳の報告が3例(30歳代男性、10歳未満女性及び10歳代女性各1例)ありました。本年の累積報告数は31例となりました。
- 風しんの報告が1例(30歳代女性)あり、症状は発熱、発疹、リンパ節腫脹、関節痛、関節炎です。感染地域、感染経路はいずれも不明です。本年の累積報告数は11例となりました。
- インフルエンザの定点当たり報告数は、大型連休であった前々週および前週は流行の目安である「1」を下回ったものの、今週は1.30(90例)となり、再度「1」を超えました。大きな流行となる傾向はみられませんが、感染に対する注意は依然必要です。

◆ 今週のトピックス: <伝染性紅斑>

京都市の伝染性紅斑の定点あたり報告数は1.21(52例)で本年で最も高い値となりました。全国の定点あたり報告数は0.91(2,899例)となり、ともに今年初めから継続して過去5年平均値を大きく上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核 なし、その他結核 1例、潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 113例(肺結核 46例、その他結核 29例、潜在性結核感染者 38例)うち喀痰塗抹陽性 25例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 16例】
- 五類:急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 43例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 24例】
- 五類:百日咳 3例【1月以降の累積報告数 31例】
- 五類:風しん 1例【1月以降の累積報告数 11例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69、小児科定点43、眼科定点10、基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1. 30	90
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8. 07	347
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 47	63
	③ 伝染性紅斑	1. 21	52
	④ 手足口病	0. 47	20
	⑤ 水痘	0. 28	12
	⑥ 突発性発疹	0. 28	12
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

【次ページ以降の主な内容】

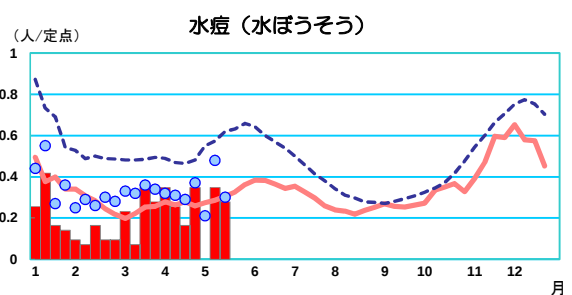
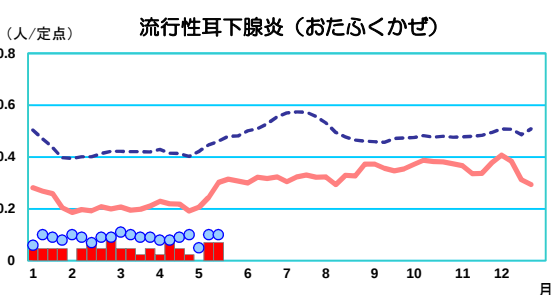
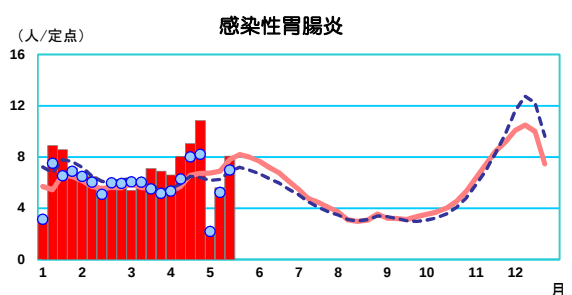
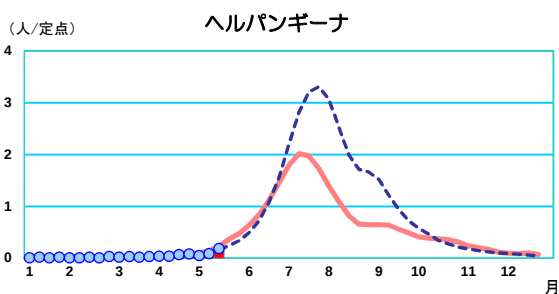
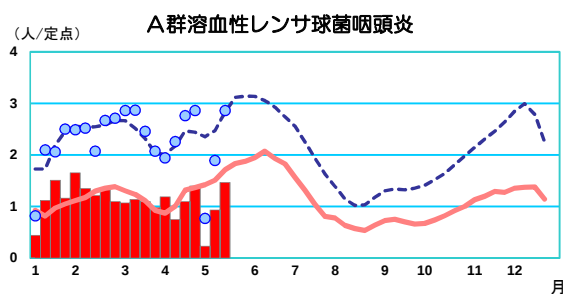
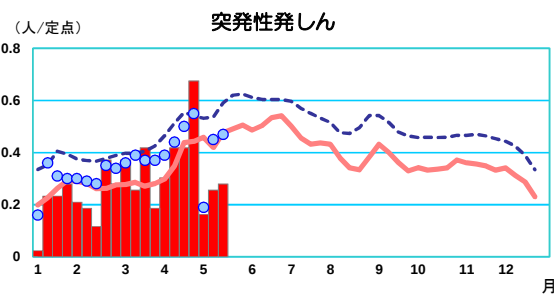
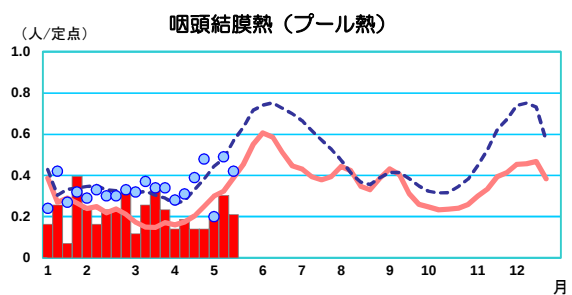
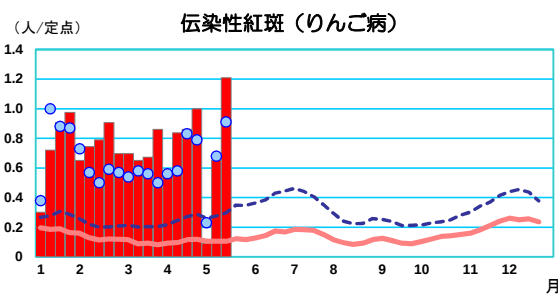
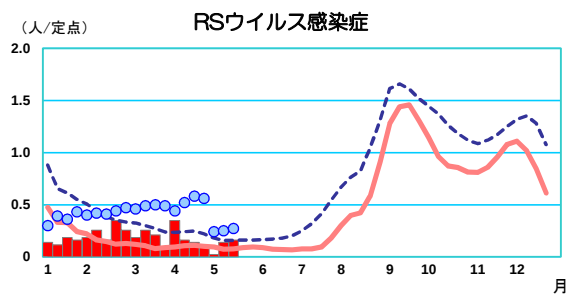
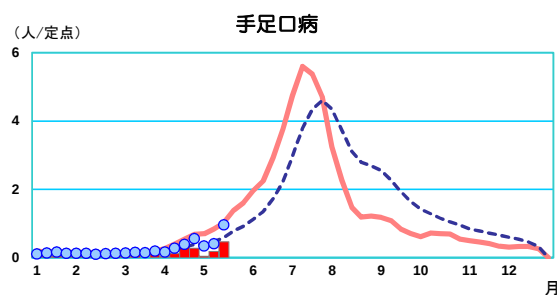
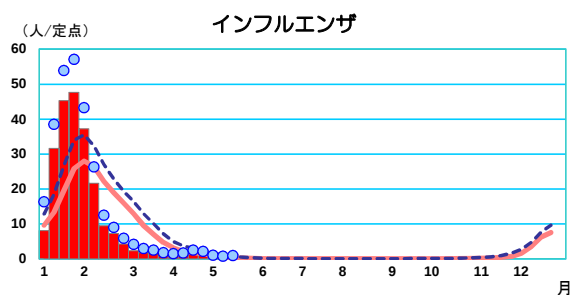
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <伝染性紅斑>

付表(疾病、行政区別報告数 / 年齢階級、疾病別報告数 / 週、疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年5月22日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第20週(5月13日～5月19日)トピックス: <伝染性紅斑>

京都市及び全国の状況

京都市の伝染性紅斑の定点あたり報告数は1.21(52例)で本年度で最も高い値となりました。全国の定点あたり報告数は0.91(2,899例)となり、ともに今年初めから継続して過去5年平均値を大きく上回っています(図1)。都道府県別の定点あたり報告数をみると青森県、新潟県、富山県、石川県で警報レベル開始基準値である「2」を超えました(図2)。近畿2府4県では、まだ警報レベルに達しないものの、今後の動向に注意が必要です。

本疾患の平成28年から平成31年第20週までの本市年齢階級別割合を年ごとにみると、年により多少の変動はあるものの、例年、3歳から6歳が約半数近くを占めています(図3)。

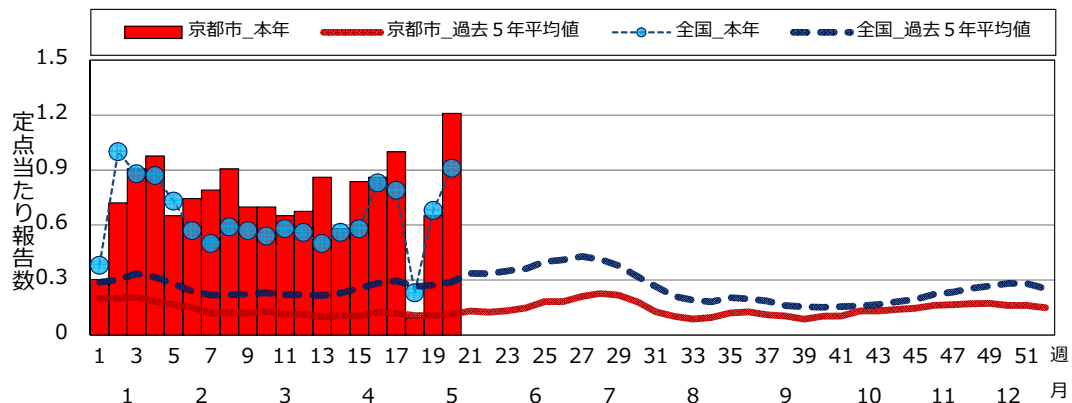
症状

本疾患はウイルスを原因とする発疹性感染症で、その感染経路は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきによる飛沫、あるいは接触感染です。10～20日程度の潜伏期間の後、軽い風邪症状を経て、両頬にりんごのような紅い発疹が現れ、続いて手足にも発疹が見られます。特効薬はなく、対症療法となりますが、ほとんどは軽症で予後良好です。しかし、妊婦が感染すると、胎児の異常や流産を引き起こすことがあります。

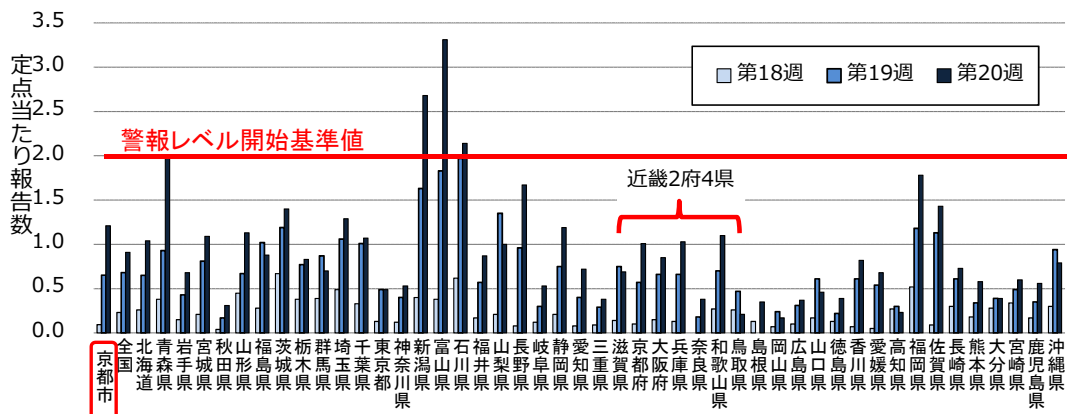
予防

予防接種はなく、日頃から一般的な感染予防対策である手洗いとうがい重要です。また、好発年齢が3歳～6歳であることから、保育施設等で流行する可能性があります。本疾患が流行した場合には、妊婦はこれらの施設に立ち入るのを可能な限り控えるようにしましょう。

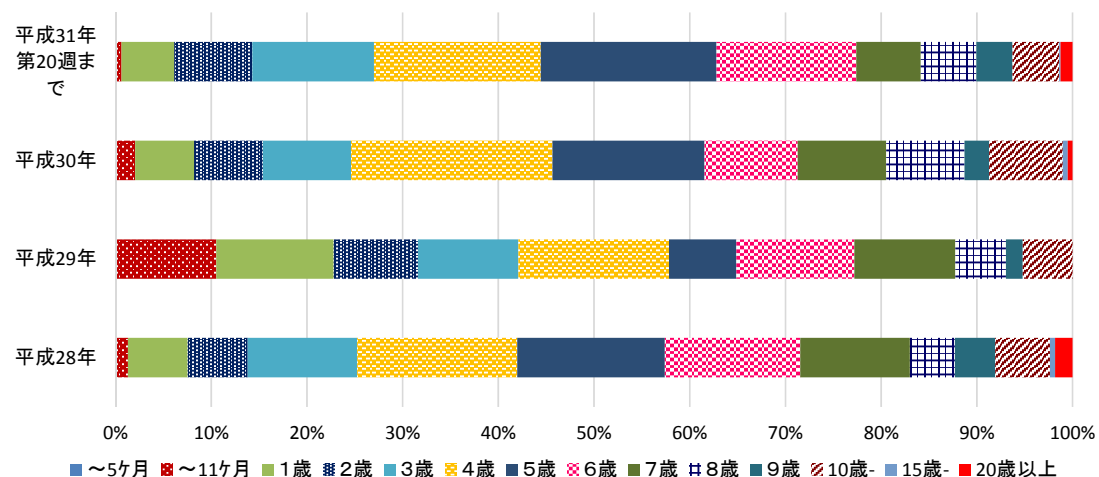
(図1) 京都市及び全国の定点あたり報告数の推移



(図2) 都道府県別定点あたり報告数の推移



(図3) 平成28年～平成31年第6週の年齢階級別割合(京都市)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第20週

疾病,行政区別報告数

2019年5月13日～2019年5月19日

データ入手日:2019年5月22日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性結 膜炎	流行性角結膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	6	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	6	-	2	4	16	1	-	3	1	-	-	-	-					
左京	8	2	1	7	75	-	2	9	2	1	-	-	1					
中京	5	-	1	4	16	-	2	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	6	2	-	-	20	-	1	-	-	1	-							
山科	19	-	-	6	16	2	-	2	2	-	1	-	-					
下京	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	14	-	1	4	18	-	1	4	1	-	1							
右京	17	-	1	16	58	4	1	12	2	-	1	-	1					
伏見	7	3	3	17	90	2	9	11	1	2	-	-	-					
西京	1	-	-	3	37	3	4	3	3	-	-	-	-					
京都市計	90	7	9	63	347	12	20	52	12	8	3	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	急性出血性結 膜炎	流行性角結膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計																		
北	0.86	-	-	0.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	1.20	-	0.67	1.33	5.33	0.33	-	1.00	0.33	-	-	-	-					
左京	1.14	0.50	0.25	1.75	18.75	-	0.50	2.25	0.50	0.25	-	-	1.00					
中京	1.00	-	0.33	1.33	5.33	-	0.67	2.67	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2.00	1.00	-	-	10.00	-	0.50	-	-	0.50	-							
山科	2.71	-	-	1.20	3.20	0.40	-	0.40	0.40	-	0.20	-	-					
下京	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	2.80	-	0.33	1.33	6.00	-	0.33	1.33	0.33	-	0.33							
右京	2.13	-	0.20	3.20	11.60	0.80	0.20	2.40	0.40	-	0.20	-	1.00					
伏見	0.64	0.43	0.43	2.43	12.86	0.29	1.29	1.57	0.14	0.29	-	-	-					
西京	0.13	-	-	0.60	7.40	0.60	0.80	0.60	0.60	-	-	-	-					
京都市計	1.30	0.16	0.21	1.47	8.07	0.28	0.47	1.21	0.28	0.19	0.07	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第20週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年5月13日～2019年5月19日

データ入手日:2019年5月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	90	-	1	3	2	10	1	5	2	5	1	-	19	17	7	9	1	-	2	1	4
RSウイルス感染症	年齢3	7	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		9	-	2	1	1	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		63	1	1	1	3	10	10	10	6	7	2	2	5	1	4						
感染性胃腸炎		347	7	24	54	37	52	34	28	23	14	11	19	23	4	17						
水痘		12	-	1	1	2	2	2	1	-	1	-	-	2	-	-						
手足口病		20	-	1	11	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		52	-	-	2	6	5	9	11	6	5	2	3	2	-	1						
突発性発しん		12	-	6	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		8	-	-	5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳-	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	1.30	-	0.01	0.04	0.03	0.14	0.01	0.07	0.03	0.07	0.01	-	0.28	0.25	0.10	0.13	0.01	-	0.03	0.01	0.06
RSウイルス感染症	年齢3	0.16	0.02	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱		0.21	-	0.05	0.02	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.47	0.02	0.02	0.02	0.07	0.23	0.23	0.23	0.14	0.16	0.05	0.05	0.12	0.02	0.09						
感染性胃腸炎		8.07	0.16	0.56	1.26	0.86	1.21	0.79	0.65	0.53	0.33	0.26	0.44	0.53	0.09	0.40						
水痘		0.28	-	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.02	-	0.02	-	-	0.05	-	-						
手足口病		0.47	-	0.02	0.26	0.16	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		1.21	-	-	0.05	0.14	0.12	0.21	0.26	0.14	0.12	0.05	0.07	0.05	-	0.02						
突発性発しん		0.28	-	0.14	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.19	-	-	0.12	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第20週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年5月22日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	73	154	116	40	65	90
RSウイルス感染症	7	6	4	1	6	7
咽頭結膜熱	8	6	6	8	13	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	47	60	10	40	63
感染性胃腸炎	346	389	467	101	241	347
水痘	11	7	15	-	15	12
手足口病	5	14	12	2	8	20
伝染性紅斑	36	37	43	4	28	52
突発性発しん	18	18	29	7	11	12
ヘルパンギーナ	3	1	2	-	3	8
流行性耳下腺炎	3	2	1	-	3	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	7	5	-	2	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	544	688	760	173	435	625

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	1.06	2.23	1.68	0.58	0.94	1.30
RSウイルス感染症	0.16	0.14	0.09	0.02	0.14	0.16
咽頭結膜熱	0.19	0.14	0.14	0.19	0.30	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.74	1.09	1.40	0.23	0.93	1.47
感染性胃腸炎	8.05	9.05	10.86	2.35	5.60	8.07
水痘	0.26	0.16	0.35	-	0.35	0.28
手足口病	0.12	0.33	0.28	0.05	0.19	0.47
伝染性紅斑	0.84	0.86	1.00	0.09	0.65	1.21
突発性発しん	0.42	0.42	0.67	0.16	0.26	0.28
ヘルパンギーナ	0.07	0.02	0.05	-	0.07	0.19
流行性耳下腺炎	0.07	0.05	0.02	-	0.07	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.70	0.50	-	0.20	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	12.16	15.19	17.04	3.67	9.70	13.90

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。